

(様式第 9)

岡大病総第 133 号
平成 25 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

岡山大学病院長
横 野 博 史

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	58	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	310人	294人	524.5人	看護補助者	37人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	100人	115人	157.7人	理学療法士	21人	臨床検査技師	73人
薬 剤 師	63人	0人	63.0人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	その他	0人
助 産 師	27人	1人	27.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	944人	26人	961.2人	臨床工学技士	24人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	0人
歯科衛生士	17人	0人	17.0人	歯 科 技 工 士	8人	事 務 職 員	303人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	49人	そ の 他 の 職 員	70人

(注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	662.1 人	22.3 人	684.4 人
1日当たり平均外来患者数	1,821.0 人	661.7 人	2,482.7 人
1日当たり平均調剤数			1,271 剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	1 人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	0 人
骨髄細胞移植による血管新生療法	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1)「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
頸部内視鏡手術	0 人
経皮的肺がんラジオ波焼灼療法	0 人
経皮的腎がんラジオ波焼灼療法	0 人
急性心筋梗塞に対するエポエチンベータ投与療法	0 人
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	1 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	生体部分肺移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肺移植は末期肺疾患に対する有効な治療法である。健康な2人のドナーから肺の一部の提供を受け、レシピエントに移植する。1人目のドナーから右下葉を、2人目のドナーから左下葉を摘出し、それぞれをレシピエントの右肺、左肺として移植する術式である。			
医療技術名	生体部分肝移植	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 肝移植は末期肝疾患並びに急性肝不全(劇症肝炎など)に対する有効な治療法であり、当院では豊富な経験のもとに良好な実績を積んでいる。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	132 人	・膿疱性乾癬	17 人
・多発性硬化症	74 人	・広範脊柱管狭窄症	17 人
・重症筋無力症	134 人	・原発性胆汁性肝硬変	107 人
・全身性エリテマトーデス	321 人	・重症急性膵炎	8 人
・スモン	16 人	・特発性大腿骨頭壊死症	110 人
・再生不良性貧血	60 人	・混合性結合組織病	46 人
・サルコイドーシス	153 人	・原発性免疫不全症候群	13 人
・筋萎縮性側索硬化症	82 人	・特発性間質性肺炎	58 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	254 人	・網膜色素変性症	49 人
・特発性血小板減少性紫斑病	79 人	・プリオン病	7 人
・結節性動脈周囲炎	92 人	・肺動脈性肺高血圧症	51 人
・潰瘍性大腸炎	377 人	・神経線維腫症	48 人
・大動脈炎症候群	39 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・ピュルガー病	25 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5 人
・天疱瘡	45 人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	15 人
・脊髄小脳変性症	99 人	・ライソゾーム病	3 人
・クローン病	147 人	・副腎白質ジストロフィー	4 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1 人
・悪性関節リウマチ	30 人	・脊髄性筋萎縮症	5 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	446 人	・球脊髄性筋萎縮症	10 人
・アミロイドーシス	11 人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	16 人
・後縦靱帯骨化症	127 人	・肥大型心筋症	14 人
・ハンチントン病	5 人	・拘束型心筋症	0 人
・モヤモヤ病(Willis動脈輪閉塞症)	108 人	・ミトコンドリア病	6 人
・ウェゲナー肉芽腫症	20 人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	17 人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	140 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	67 人	・黄色靱帯骨化症	6 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4 人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	189 人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・超音波骨折治療法	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・根治的前立腺全摘徐術における内視鏡下手術用ロボット支援	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	【病理診断部門】 ・剖検症例検討会 月1回程度 ・消化器内科＋消化管外科とのカンファレンス 週1回程度 ・乳腺・内分泌外科とのカンファレンス 年4回程度 ・脳神経外科との脳腫瘍カンファレンス 月1回程度 ・婦人科との婦人科腫瘍カンファレンス 週1回程度 ・頭頸部がんサージカルボード 週1回程度 ・消化器内科との肝・胆道系カンファレンス 月1回程度 ・皮膚病理カンファレンス 週1回程度 【臨床検査部門】 ・総合診療内科との症例検討会 月1回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 14 例 / 剖検率 7.4 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(1 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
BMPネットワークにより形成される卵胞機能制御の新たなパラダイムの解明	大塚 文男	総合内科	千円 1,600	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
同種造血幹細胞移植後の効率的免疫寛容の誘導法の開発	谷本 光音	血液・腫瘍内科	1,690	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
制御性T細胞恒常性を標的とした低用量IL-2による慢性片対宿主病治療法	松岡 賢市	血液・腫瘍内科	2,210	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
難治性血管炎に関する調査研究	槇野 博史	腎臓・糖尿病・内分泌内科	62,000	⑨ 厚生労働科学研究費補助金
大型血管炎の血管病変分布と遺伝的背景に関する検討	内田 治仁	腎臓・糖尿病・内分泌内科	2,000	⑨ 難病医学財団医学研究奨励助成金
加算微分fQRSを用いた新しい心臓突然死リスク予測法	森田 宏	循環器内科	1,600	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
腹部大動脈瘤におけるCD44の分子病態制御機構の解明と新たな治療法の基礎確立	三好 亨	循環器内科	1,500	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
J波症候群の病態と遺伝基盤の解明および治療法の確立	永瀬 聡	循環器内科	1,300	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
KCNH2(HERG)電流活性化因子の同定と作用の検討	中村 一文	循環器内科	1,600	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
遺伝性不整脈疾患の遺伝子基盤に基づいた病態解明と診断・治療法の開発に関する研究	森田 宏	循環器内科	1,600	⑨ 厚生労働科学研究費補助金
神経疾患の病態解析に有用な新たなin vivo分子イメージング法の確立	阿部 康二	神経内科	1,700	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
非翻訳領域リピート伸長脊髄小脳失調症	松浦 徹	神経内科	4,450	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
新たな遺伝性脊髄小脳変性症SCA36の分子病態解明と治療法開発研究	池田 佳生	神経内科	1,600	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
ゼラチン多孔体による慢性期脳梗塞再生医療	出口 健太郎	神経内科	800	⑨ 文部科学省科学研究費補助金
神経変性疾患に関する調査研究	阿部 康二	神経内科	1,300	⑨ 厚生労働科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	阿部 康二	神経内科	800	⑨ 厚生労働科学研究費補助金
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	阿部 康二	神経内科	600	⑨ 厚生労働科学研究費補助金
プリオン病のサーベイランスに関する研究	阿部 康二	神経内科	1,000	⑨ 厚生労働科学研究費補助金

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(2 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒトHER2分子の細胞外ドメインを発現する腫瘍融解ウイルスによる胃癌分子治療開発	藤原 俊義	消化管外科	千円 2,730	補 文部科学省科学研究費補助金 委
便中マイクロRNA検出による膵がんスクリーニング技術の開発	永坂 岳司	消化管外科	1,040	補 文部科学省科学研究費補助金 委
臓器移植におけるRAGEリガンドを介した新たな免疫制御システムの確立	貞森 裕	消化管外科	2,210	補 文部科学省科学研究費補助金 委
蛍光発現ウイルスを用いた血中環境がん細胞の分離による高感度遺伝子解析技術の開発	香川 俊輔	消化管外科	1,560	補 文部科学省科学研究費補助金 委
癌抑制遺伝子FHITのPKC制御による膵癌の浸潤・転移抑制効果の研究	西崎 正彦	消化管外科	1,430	補 文部科学省科学研究費補助金 委
メチル化DNAをバイオマーカーに用いた非侵襲的がん総合検診パラダイムの構築	永坂 岳司	消化管外科	4,030	補 文部科学省科学研究費補助金 委
光感受性ROS産生蛍光タンパク質を発現する遺伝子改変アデノウイルス製剤を用いた新たな癌の光線力学療法システムの開発	藤原 俊義	消化管外科	19,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
-がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究-がん特異的蛍光発現ウイルス製剤による診断研究	藤原 俊義	消化管外科	2,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
大腸癌におけるオキサリプラチンの末梢神経障害に対する漢方薬：牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験(臨床第Ⅲ相試験)	藤原 俊義	消化管外科	600	補 厚生労働科学研究費補助金 委
ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法の確立	藤原 俊義	消化管外科	400	補 厚生労働科学研究費補助金 委
進行・再発膵癌に対する新規エピトープペプチドカクテル療法を標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	藤原 俊義	消化管外科	2,500	補 厚生労働科学研究費補助金 委
肺癌におけるマイクロRNA発現異常の同定と新規診断・治療法の開発	三好 新一郎	呼吸器外科	1,170	補 文部科学省科学研究費補助金 委
マイクロRNA異常の解明による悪性中皮腫に対する新規治療法の開発	豊岡 伸一	呼吸器外科	910	補 文部科学省科学研究費補助金 委
ヒト上皮成長因子受容体変異肺癌に対するチロシンキナーゼ阻害剤の効果に関する検討	宗 淳一	呼吸器外科	910	補 文部科学省科学研究費補助金 委
Hsp90阻害剤と放射線照射による新しい肺癌治療戦略	山本 寛斉	呼吸器外科	2,080	補 文部科学省科学研究費補助金 委
体外式肺還流装置による脳死マージナルドナー肺の移植前評価・治療に関する研究	大藤 剛宏	呼吸器外科	1,560	補 文部科学省科学研究費補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(3 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
エストロゲン関連遺伝子の遺伝子多型を加味した乳癌リスクモデルの構築に関する検討	土井原 博義	乳腺・内分泌外科	千円 1,690	補 文部科学省科学研究費補助金 委
乳がん初期治療後のライフスタイルが乳がんアウトカムに及ぼす影響に関する研究	平 成人	乳腺・内分泌外科	1,690	補 文部科学省科学研究費補助金 委
REIC/Dkk-3遺伝子治療による自己癌ワクチン化療法の基盤解析	公文 裕巳	泌尿器科	4,600	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
小児心不全に対する細胞治療と単心室由来人工多能性幹(iPS)細胞の樹立による次世代心筋再生医療の開発	佐野 俊二	心臓血管外科	1,000	補 厚生労働省成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 委
脱細胞化したマトリックスへのヒト人工心筋細胞の再播種によるバイオ人工心臓の作成	佐野 俊二	心臓血管外科	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
エクスプラント心由来の自己幹細胞移植による新たな心臓移植後の拒絶緩和療法の開発	新井 禎彦	心臓血管外科	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
骨肉腫におけるオミックス解析技術を用いた新たな抗分子標的療法の開発	尾崎 敏文	整形外科	2,000	補 文部科学省科学研究費助成金 委
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	尾崎 敏文	整形外科	250	補 厚生労働科学研究費補助金 委
microRNA阻害剤による骨肉腫がん幹細胞制御を基盤とした新たな革新的がん治療の実用化を目指す前臨床試験	尾崎 敏文	整形外科	5,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
進化分子工学と先端接着技術の応用による脊髄損傷の新たな治療法開発への挑戦	田中 雅人	整形外科	1,300	補 文部科学省科学研究費助成金 委
我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究	西田 圭一郎	整形外科	1,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
多関節障害重症 RA 患者に対する総合的関節機能再建治療法の検討と治療ガイドライン確立	西田 圭一郎	整形外科	500	補 厚生労働科学研究費補助金 委
遺伝子導入・培養半月板移植による半月板損傷の修復促進と半月板再生	古松 毅之	整形外科	1,300	補 文部科学省科学研究費助成金 委
新規骨接着型生体吸収性材料リン酸化プルランを用いた新しい骨折治療法の検討	杉本 佳久	整形外科	900	補 文部科学省科学研究費助成金 委
自己重合ペプチドスキャフォールドの骨再生メカニズムの解析	三澤 治夫	整形外科	1,400	補 文部科学省科学研究費助成金 委
マウス骨転移モデルに対するリン酸化プルラン・ゾレドロン酸混和物の抗腫瘍効果の検討	武田 健	整形外科	1,900	補 文部科学省科学研究費助成金 委
脊柱側弯症における3次元画像解析法の開発	瀧川 朋亨	整形外科	900	補 文部科学省科学研究費助成金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(4 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進化分子工学と先端接着技術による新しい骨折予防・治療法の開発と実用化に向けた検討	塩崎 泰之	整形外科	千円 1,200	補 文部科学省科学研究費助成金 委
骨肉腫に対する化学療法増感剤としてのウイルス製剤の検証	佐々木 剛	整形外科	1,200	補 文部科学省科学研究費助成金 委
CCN2のメタボリックサポーターとしての機能解明とその臨床応用研究	三宅 由晃	整形外科	1,000	補 文部科学省科学研究費助成金 委
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	70,000	補 厚生労働省科学研究費補助金 委
難治性血管炎に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	800	補 厚生労働省科学研究費補助金 委
がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究－診療動向と治療成績の変化－	岩月 啓氏	皮膚科	280	補 厚生労働省科学研究費補助金 委
ATL克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究	岩月 啓氏	皮膚科	200	補 厚生労働省科学研究費補助金 委
HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及	岩月 啓氏	皮膚科	150	補 厚生労働省科学研究費補助金 委
EBウイルス感染リンパ球の再活性化が誘発する宿主免疫応答と皮膚病変の解明	岩月 啓氏	皮膚科	2,080	補 文部科学省科学研究費補助金 委
尋常性天疱瘡の分子病態・シグナル伝達解明とデスモソームの制御機構	青山 裕美	皮膚科	1,950	補 文部科学省科学研究費補助金 委
皮膚におけるバントンバレンタインロイコジンの発現機構と病態形成の解明	山崎 修	皮膚科	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
HDAC阻害剤の併用療法のターゲットとしてのHSP70の可能性の探究	藤井 一恭	皮膚科	2,730	補 文部科学省科学研究費補助金 委
Th2環境が表皮角化細胞産生カリクレインの発現および皮膚バリアに与える影響	森実 真	皮膚科	2,210	補 文部科学省科学研究費補助金 委
皮膚悪性腫瘍に対する抗癌剤感受性試験	大塚 正樹	皮膚科	1,950	補 文部科学省科学研究費補助金 委
末梢血を循環するメラノーマ幹細胞の解析	高田 実	皮膚科	1,430	補 文部科学省科学研究費補助金 委
パーキンソン病に対するカプセル化神経幹細胞移植:post-DBS時代を見据えて	伊達 勲	脳神経外科	4,400	補 文部科学省科学研究費補助金 委
脳血管障害研究の新展開【脳血管障害とCCNファミリー分子CYR61】	伊達 勲	脳神経外科	900	補 文部科学省科学研究費補助金 委
Gliomaの新規予後因子CYR61及びMGMTに関する分子生物学的検討	杉生 憲志	脳神経外科	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(5 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
うつ病はDBSで治るのか? : 科学的根拠の蓄積を目指して	三好 康之	脳神経外科	千円 2,700	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
分子標的治療薬を用いた脳梗塞に対する遺伝子細胞療法	小野 成紀	脳神経外科	300	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
グリオーマ動物モデルを用いたグリオーマ幹細胞ニッチと増殖・浸潤・血管新生の解明	市川 智継	脳神経外科	1,200	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
悪性グリオーマに対する腫瘍溶解性ウイルスと抗血管新生薬との併用療法についての検討	黒住 和彦	脳神経外科	1,300	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
頭部外傷に対する骨髄由来幹細胞動注療法	菱川 朋人	脳神経外科	700	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
電気刺激が脳梗塞に及ぼす影響ー再生医療の観点から	亀田 雅博	脳神経外科	1,000	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
特発性正常圧水頭症の病因・病態と診断・治療に関する研究	伊達 勲	脳神経外科	600	⑨ 厚生労働科学研究費補助金 委
脳虚血手術モデルにおける血管内皮成長因子とapelinの血管新生増強効果の検討	徳永 浩司	脳神経外科	1,000	⑨ 先進医薬研究振興財団 委
急性肝不全における新たな早期酸化ストレスマーカーNrf2	清水 裕子	麻酔科蘇生科	1,400	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
硬膜外超音波を用いた脊椎関連疾患の診断治療の探索的研究	石川 慎一	麻酔科蘇生科	1,100	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
遺伝子多型ペースメーカーチャンネルによる細胞内伝達抑制を用いた慢性痛遺伝子治療	賀来 隆治	麻酔科蘇生科	1,600	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
ゲノムインフォマティクスを応用した難治性慢性痛における中枢機能の客観的評価	西江 宏行	麻酔科蘇生科	500	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
iPS細胞を用いた急性呼吸窮迫症候群治療への挑戦	林 真雄	麻酔科蘇生科	1,500	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
アデノ随伴ウイルスベクターを用いた神経障害性痛に対する遺伝子治療	小幡 典彦	麻酔科蘇生科	1,100	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
病態解析を通じたH5N1高病原性鳥インフルエンザ	森島 恒雄	小児科	600	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
重症のインフルエンザによる肺炎・脳症の解析・診断・治療に関する研究	森島 恒雄	小児科	40,036	⑨ 厚生労働科学研究補助金 委
骨髄微小環境下におけるAML幹細胞のチロシンキナーゼ阻害剤耐性機構の解明	嶋田 明	小児科	1,200	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委
骨形成不全症の診断、重症度判別における尿中骨代謝マーカーの有効性の確立	長谷川 高誠	小児科	1,100	⑨ 文部科学省科学研究費補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(6 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
希少難治性てんかんに関する調査研究	小林 勝弘	小児神経科	千円 1,000	⑧ 厚生労働科学研究 委補助金
てんかんの有病率等に関する疫学研究及び診療実態の分析と治療体制の整備に関する研究	小林 勝弘	小児神経科	500	⑧ 厚生労働科学研究 委補助金
脳形成異常を主とする発達期脳障害の病因・病態と治療に関する研究	小林 勝弘	小児神経科	1,000	補 精神・神経疾患研 ⑧ 究委託費
プリオン病および遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	吉永 治美	小児神経科	300	⑧ 厚生労働科学研究 委補助金
経皮的治療IVRに関する研究	金澤 右	放射線科	1,000	補 国立がん研究セン ⑧ ター
高度医療技術の効率化及び標準化の開発に関する研究	金澤 右	放射線科	1,000	⑧ 厚生労働科学研究 委費補助金
高磁場MRI内での磁性ナノ粒子を用いた腫瘍治療の基礎的研究	郷原 英夫	放射線科	780	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
肺アスペルギローマに対するラジオ波治療	平木 隆夫	放射線科	650	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
バーチャル解剖シミュレーターを用いた神経ブロックに必要な解剖の教育	武田 吉正	集中治療部	500	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
糖尿病患者の周術期血糖変動に関する研究	江木 盛時	集中治療部	2,000	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
MEKを標的とする化学修飾フラボノイドによる神経障害性痛治療薬の開発	松岡 義和	集中治療部	900	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
運動器疾患の評価と要介護予防のための指標開発および効果的介入方法に関する調査研究	千田 益生	総合リハビリテーショ ン部	1,000	⑧ 厚生労働科学研究 委費補助金
人工筋肉を用いた麻痺手を動かすシステムの実用化に関する研究	千田 益生	総合リハビリテーショ ン部	1,400	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
同種造血細胞移植後閉塞性細気管支炎の早期診断	藤井 伸治	輸血部	1,252	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
オンデマンド・バーチャルリアルティ鏡治療の難治性疼痛治療への応用	佐藤 健治	周術期管理センター	300	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
生体肝移植における移植肝機能不良、肝再生不良機序の解析	榎田 祐三	臓器移植医療センター	780	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
緑色蛍光タンパク質発現ウイルス製剤による膀胱癌に対する新たな診断法の開発研究	賀来 春紀	新医療研究開発セン ター	1,560	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金
マイクロRNA遺伝子制御ネットワークによるオートファジー細胞死誘導機構の解明	田澤 大	新医療研究開発セン ター	1,300	⑧ 文部科学省科学研 委究費補助金

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(7 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
消化管間質腫瘍における血中浮遊腫瘍細胞検出とその有用性検討の試み	宇野 太	新医療研究開発センター	千円 1,560	補 文部科学省科学研究費補助金 委
難治性固形がん(悪性胸膜中皮腫、前立腺がん)に対する次世代自己がんワクチン化学療法としてのREIC/Dkk-3遺伝子治療臨床研究	那須 保友	新医療研究開発センター	30,000	補 厚生労働省科学研究費補助金 委
小児心不全に対する細胞治療と単心室由来人工多能性幹(iPS)細胞の樹立による次世代心筋再生医療の開発	王 英正	新医療研究開発センター	28,800	補 厚生労働省成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 委
異種間ヘテロカリオン細胞の包括的遺伝子解析によるヒト心筋細胞初期変換因子群の確立	王 英正	新医療研究開発センター	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
がん選択的生物製剤を用いた早期大腸癌の超低侵襲治療の開発	岸本 浩行	新医療研究開発センター	1,950	補 文部科学省科学研究費補助金 委
がん微小環境における癌関連線維芽細胞を標的とした新たな癌治療法の開発	野間 和広	医療教育統合開発センター	2,600	補 文部科学省科学研究費補助金 委
歯周病原細菌のIgG抗体価検査の自動化・高速化に関する研究	高柴 正悟	歯周科	3,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
歯周病原細菌の感染と歯科インプラントの安全性に関するコホート研究	高柴 正悟	歯周科	1,400	補 文部科学省科学研究費補助金 委
ペプチド核酸による歯周病原細菌除去療法の確立	前田 博史	歯周科	800	補 文部科学省科学研究費補助金 委
口腔内感染度からみたビスフォスフォネート系製剤関連顎骨壊死の予防システムの構築	畑中 加珠	歯周科	1,000	補 文部科学省科学研究費補助金 委
前立腺癌の臓器転移に及ぼす歯周感染病巣の影響に関する基礎的研究	谷本 一郎	歯周科	1,100	補 文部科学省科学研究費補助金 委
歯周組織の細胞周期アトラスの作製	山本 直史	歯周科	900	補 文部科学省科学研究費補助金 委
唾液腺幹細胞とiPS細胞を用いた唾液分泌障害に関する病因因子の解明	峯柴 淳二	歯周科	900	補 文部科学省科学研究費補助金 委
TACE-Timp3を標的とした糖尿病患者における歯周病悪化機序の解明	大森 一弘	歯周科	900	補 文部科学省科学研究費補助金 委
歯肉上皮細胞におけるTGF- β による細胞接着因子制御の分子生物学的解明	山城 圭介	歯周科	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
肺炎重症度と歯周病原細菌感染度の関連性に関する研究	工藤 値英子	歯周科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
歯周炎症抑制の標的蛋白としてのカベオリン-1と可溶性gp130の有用性	山口 知子	歯周科	1,100	補 文部科学省科学研究費補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(8 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
人工・天然抗菌物質を組み合わせた口腔感染制御システムの新規開発	伊東 孝	歯周科	千円 1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
抗菌ペプチドhuman β -defensin-2を用いた口腔感染症治療への応用	峯柴 史	歯周科	800	補 文部科学省科学研究費補助金 委
マッシュルームレクチンの安全性試験および臨床応用の検討	高柴 正悟	歯周科	2,500	補 特別電源所在県科学技術振興会 委
歯乳頭由来幹細胞(SCAP)のニッチの解析による新たな間葉系幹細胞維持機構の解明	園山 亘	クラウンブリッジ補綴科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
周術期における歯科介入効果の検討	水口 真実	クラウンブリッジ補綴科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
ヒト歯髄幹細胞による自己免疫性脳炎の治療効果とそのメカニズムの検討	秋山 謙太郎	クラウンブリッジ補綴科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
PET-CTによる5-HT神経系と睡眠時ブラキシズム発症メカニズムとの関連性解明	黒井 隆太	クラウンブリッジ補綴科	1,600	補 文部科学省科学研究費補助金 委
TNF- α による歯髄細胞の幹細胞化に着目した象牙質再生機序の解明	上枝 麻友	クラウンブリッジ補綴科	2,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
変形性関節症の予防や治療を目指した結合組織成長因子発現制御ペプチドの探索と評価	笈田 育尚	クラウンブリッジ補綴科	1,900	補 文部科学省科学研究費補助金 委
インプラント周囲炎の生物学的病態解明と予防的診断プロトコルの開発	三野 卓哉	クラウンブリッジ補綴科	1,000	補 文部科学省科学研究費補助金 委
発生メカニズムに立脚した生物学的歯根再生技術の開発	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	6,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
部位特異的な組織再生誘導を実現する多機能性インプラント	前川 賢治	クラウンブリッジ補綴科	3,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
ニューロモジュレーターであるセロトニン動態から見た睡眠時ブラキシズム発症機序解明	水口 一	クラウンブリッジ補綴科	5,000	補 文部科学省科学研究費補助金 委
組織幹細胞を用いた歯関連組織の分化メカニズムの解明とその応用	園山 亘	クラウンブリッジ補綴科	4,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
新たなリプログラミング法による組織幹細胞作製技術の適正化	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	1,100	補 文部科学省科学研究費補助金 委
サイバニクスのアプローチによる口腔周囲筋の機能再生	前川 賢治	クラウンブリッジ補綴科	800	補 文部科学省科学研究費補助金 委
口腔インプラント治療を受けた介護高齢者の問題点の抽出ならびにリカバリー法の開発	木村 彩	クラウンブリッジ補綴科	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
変形性関節症ならびに軟骨分化におけるWISP-1遺伝子の機能解析	大野 充昭	クラウンブリッジ補綴科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(9 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
BMP-2の骨髄環境下における骨髄ニッチ形成・骨形成抑制メカニズムの解明	縄稚 久美子	クラウンブリッジ補綴科	千円 1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
顎関節症における筋筋膜疼痛の発症機序を微弱筋活動の長時間計測から解明する	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科	4,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
要介護高齢者の食形態診断をアシストできる咀嚼能力評価法の確立	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科	1,560	補 委 文部科学省科学研究費補助金
咬合支持の喪失ならびにその回復と記憶学習との関連について-酸化ストレスの影響-	原 哲也	咬合・義歯補綴科	2,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
発汗波のパターン分析による顎顔面補綴患者の精神的ストレス評価	西川 悟郎	咬合・義歯補綴科	1,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
レーザーアシストエッチングがセラミックスの表面構造特性と接着性に与える影響	丸尾 幸憲	咬合・義歯補綴科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
咬合感覚閾値の経時的変化が心理的ストレスにより可塑性変調する可能性に関する研究	沖 和広	咬合・義歯補綴科	300	補 委 文部科学省科学研究費補助金
咀嚼時の唾液分泌機序に着目した口腔乾燥症に対する新たな治療法の確立	兒玉 直紀	咬合・義歯補綴科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
臼歯抜歯後の咬合支持の回復と慢性ストレスが高次脳機能に与える影響	黒住 明正	咬合・義歯補綴科	700	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨組織におけるEpiA4の機能解明とその骨組織再生医療への応用	黒田 知沙	咬合・義歯補綴科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
インプラント-骨界面に発現する細胞外蛋白の三次元的局在と機能解析	玉田 宜之	咬合・義歯補綴科	1,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
構音時の舌後方部挙上運動評価方法の確立のための運動解析	白髭 智子	咬合・義歯補綴科	1,400	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯の接触感覚に関する心理物理学的計測方法の確立と臨床応用	森本 雄太	咬合・義歯補綴科	1,900	補 委 文部科学省科学研究費補助金
経口投与用ミダゾラム封入ステルス型ナノ薬物キャリアの開発	宮脇 卓也	歯科麻酔科	2,210	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔内炎症モデルでの視床下部-下垂体-副腎皮質系と脳内サイトカインの反応について	前田 茂	歯科麻酔科	1,040	補 委 文部科学省科学研究費補助金
Tmem135変異マウスを用いた中枢の酸化ストレスに伴う神経変性メカニズムの検討	樋口 仁	歯科麻酔科	2,470	補 委 文部科学省科学研究費補助金
改良リポソーム製剤による「苦味薬物」効果的経口投与法の開発	友安 弓子	歯科麻酔科	650	補 委 文部科学省科学研究費補助金
常用薬が静脈麻酔薬プロポフォール [®] の薬物動態および臨床効果に及ぼす影響	石井 美菜子	歯科麻酔科	2,080	補 委 文部科学省科学研究費補助金

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(10 / 46)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
口腔領域での酸化ストレスコントロールによる加齢制御	森田 学	予防歯科	千円 2,700	⑩ 文部科学省科学研究費補助金 委
通電刺激による歯周炎コントロール	森田 学	予防歯科	2,100	⑩ 文部科学省科学研究費補助金 委
新規生体材料チタン酸Caを用いた抗菌作用付与歯質コーティング法の開発	岸本 悦央	予防歯科	1,300	⑩ 文部科学省科学研究費補助金 委
口腔組織に対する還元型コエンザイムQ10の抗加齢作用の検討	友藤 孝明	予防歯科	1,400	⑩ 文部科学省科学研究費補助金 委
咬合異常とアルツハイマー病との関連性	江國 大輔	予防歯科	1,200	⑩ 文部科学省科学研究費補助金 委
リコンビナーゼAを用いたリプレースメントセラピーによる新規齲蝕抑制法の開発	仲野 道代	小児歯科	1,800	⑩ 文部科学省科学研究費補助金 委
根尖性歯周炎等の口腔内感染巣が易感染性患者の多剤耐性菌感染症に及ぼす潜在的な影響	曾我 賢彦	医療支援歯科治療部	2,210	⑩ 文部科学省科学研究費補助金 委

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(21 / 46)

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所 属 部 門
Mol Cell Endocrinol. 349:105-110,2012	BMP action in the pituitary: its possible role in modulating somatostatin sensitivity in pituitary tumor cells. At the Cutting Edge.	Otsuka F	総合内科
Acta Med Okayama 67:75-86,2013	Multifunctional bone morphogenetic protein system in endocrinology.	Otsuka F	総合内科
Biochem. Biophys. Res. Commun. 434:401-406,2013.	GRK-6 mediates FSH action synergistically enhanced by estrogen and the oocyte in rat granulosa cells.	Miyoshi T	総合内科
Acta Med Okayama 67:227-237,2013	A Comprehensive Analysis of 174 Female Patients Admitted to Okayama University Hospital.	Otsuka F	総合内科
Acta Med Okayama 66:449-459,2012	Losartan/hydrochlorothiazide combination therapy surpasses high-dose angiotensin receptor blocker in the reduction of morning home blood pressure in patients with morning hypertension.	Hanayama Y	総合内科
Intern Med 51:943-947,2012	Weber-Christian disease developing into mediastinitis and pleuritis with massive pleural effusion.	Murakami K	総合内科
Intern Med 51:377-380,2012	Successful treatment of sepsis caused by Staphylococcus lugdunensis in an adult with 22q11.2 deletion syndrome.	Hanayama Y	総合内科
Intern Med 51:177-179,2012	Long-term Taenia saginata infection successfully treated with meglumine/diatrizoate sodium.	Hanayama Y	総合内科
Intern Med 51:119-120,2012	Multifocal Langerhans cell histiocytosis in adult.	Murakami K	総合内科
Virology Journal 10:225,2013	Systemic Varicella-Zoster Virus Infection in Two Critically Ill Patients in an Intensive Care Unit.	Otsuka F	総合内科
Am J Gastroenterol 2013; 108:83-89	Evaluation of Mucosal Healing of Ulcerative Colitis by a Quantitative Fecal Immunochemical Test	半井 明日香	消化器内科
Clin Exp Nephrol 2012 Jul 5.	Current status of the treatment of microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Rheumatol. 2012 Mar;39(3):545-51.	Risk Factors Associated with Relapse in Japanese Patients with Microscopic Polyangiitis	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clin Exp Nephrol. 2012 Oct;16(5):760-6.	Mizoribine, tacrolimus, and corticosteroid combination therapy successfully induces remission in patients with lupus nephritis.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Pharmacol Sci 120(3):206-12, 2012	Acute vasoreactivity testing with nicardipine in patients with pulmonary arterial hypertension.	斎藤 幸弘	循環器内科
Circ Arrhythm Electrophysiol 5(5):898-905, 2012	Cardiac dysfunction and prolonged hemodynamic deterioration after implantable cardioverter-defibrillator shock in patients with systolic heart failure.	杜 徳尚	循環器内科
Heart Rhythm 9(5):752-9, 2012	Identification of high-risk syncope related to ventricular fibrillation in patients with Brugada syndrome.	森田 宏	循環器内科
Int J Cardiol 159(2):100-6, 2012	Pro-apoptotic effects of imatinib on PDGF-stimulated pulmonary artery smooth muscle cells from patients with idiopathic pulmonary arterial hypertension.	中村 一文	循環器内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(22 / 46)

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所 属 部 門
European Journal of Neurology 19 (2012) 1070-1078	Cognitive and affective impairments of a novel SCA/MND crossroad mutation Asidan.	Abe K	神経内科
Neurology 79 (2012) 333-341	Clinical features of SCA36: a novel spinocerebellar ataxia with motor neuron involvement (Asidan).	Ikeda Y	神経内科
J. Cereb. Blood Flow, Metab. 32 (2012) 456-467	Early and progressive impairment of spinal blood flow-glucose metabolism coupling in motor neuron degeneration of ALS model mice autophagy in transgenic mice with a G93A mutant SOD1 gene.	Abe K	神経内科
J Neurosci Res. 90 (2012) 2086-2093	Intracerebral Transplantation of Bone Marrow Stromal Cells Ameliorates Tissue Plasminogen Activator-Induced Brain Damage After Cerebral Ischemia in Mice Detected by In Vivo and Ex Vivo Optical Imaging.	Abe K	神経内科
Stroke 43 (2012) 1639-1646	Clinical and pathological improvement in stroke-prone spontaneous hypertensive rats related to the pleiotropic effect of cilostazol.	Omote Y	神経内科
Acta Medica Okayama 66(2):83-92, 2012	Ataxia-telangiectasia mutated and the Mre11-Rad50-NBS1 complex: promising targets for radiosensitization.	Kuroda S	消化管外科
Cancer Gene Ther, 19(11):767-772, 2012	Enhanced antitumor efficacy of telomerase-specific oncolytic adenovirus with valproic acid against human cancer cells.	Fujiwara T	消化管外科
Cancer Immunol Immunother 61(11):1905-1916, 2012	Mechanism of resistance to trastuzumab and molecular sensitization via ADCC activation by exogenous expression of HER2-extracellular domain in human cancer cells.	Yoshida R	消化管外科
Curr Pharm Biotechnol 13(9):1809-1816, 2012	Synergistic interaction of telomerase-specific oncolytic virotherapy and chemotherapeutic agents for human cancer.	Fujiwara T	消化管外科
Eur J Cancer 48(14):2282-2291, 2012	A novel apoptotic mechanism of genetically engineered denovirus-mediated tumour-specific p53 overexpression through E1A-dependent p21 and MDM2 suppression.	Fujiwara T	消化管外科
J Surg Res 178(2):700-707, 2012	Jejunal interposition reconstruction with a stomach preserving esophagectomy improves postoperative weight loss and reflux symptoms for esophageal cancer patients.	Fujiwara T	消化管外科
PLoS One 7(6):1-10, 2012	The hTERT promoter enhances the antitumor activity of an oncolytic adenovirus under a hypoxic microenvironment.	Fujiwara T	消化管外科
Hepatogastroenterology 59(114):578-583, 2012	Preventive effect of omental flap in pancreaticoduodenectomy against postoperative pseudoaneurysm formation.	Yagi T	肝・胆・膵外科
J Gastrointest Surg Epub ahead of print 2012 May 10.	Bloodless donor hepatectomy in living donor liver transplantation: counterclockwise liver rotation and early hanging maneuver.	Sadamori H	肝・胆・膵外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(23 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Gastrointest Surg Epub ahead of print 2012 Aug 22.	New surgical approach to large splenorenal shunt in living donor liver transplantation: diversion of SMV and SPV blood flow.	Sadamori H	肝・胆・膵外科
Acta Medica Okayama 66(2):177-182, 2012	Resection of metachronous lymph node metastases from hepatocellular carcinoma after hepatectomy: report of four cases.	Yagi T	肝・胆・膵外科
Clin Transplant 26(6):877-883, 2012	Surgical rationalization of living donor liver transplantation by abolition of hepatic artery reconstruction under a fixed microscope.	Yagi T	肝・胆・膵外科
Dig Surg 29(2):149-156, 2012	Intractable bile leakage after hepatectomy for hepatocellular carcinoma in 359 recent cases.	Sadamori H	肝・胆・膵外科
Liver Transplantation, 2012	Small-for-size syndrome after Living donor Liver transplantation	Umeda Y	肝・胆・膵外科
Int J Oncol, 40(1):63-70, 2012	Radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma induces glypican-3 peptide-specific cytotoxic T lymphocytes.	Nobuoka D	肝・胆・膵外科
J Gastrointest Surg. 16(6):1278-1281, 2012	Carcinosarcoma of the gallbladder manifesting as cholangitis due to hemobilia. J Gastrointest Surg	Sadamori H	肝・胆・膵外科
Anticancer Res. 2012;32:4871-5.	MicroRNA miR-34b/c enhances cellular radiosensitivity of malignant pleural mesothelioma cells.	Toyooka S	呼吸器外科
Lung Cancer. 2012;78:207-11.	Impact of age on epidermal growth factor receptor mutation in lung cancer.	Toyooka S	呼吸器外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2012;15(6):954-60.	Induction chemoradiotherapy is superior to induction chemotherapy for the survival of non-small-cell lung cancer patients with pathological mediastinal lymph node metastasis.	Toyooka S	呼吸器外科
Eur J Cardiothorac Surg. 2012;42(3):579-81.	Basal segmental auto-transplantation after pneumonectomy for advanced central lung cancer.	Oto T	呼吸器外科
Eur J Cardiothorac Surg. 2012;41(3):669-75.	Egr1: a novel target for ameliorating acute allograft rejection in an experimental lung transplant model.	Yamane M	呼吸器外科
Breast Cancer. 2012 Mar 10. [Epub ahead of print]	Expression of ALDH1 in axillary lymph node metastases is a prognostic factor of poor clinical outcome in breast cancer patients with 1-3 lymph node metastases.	Doihara H	乳腺・内分泌外科
Breast Cancer Res Treat. 2012;136(2): 331-45.	Role of epidermal growth factor receptor in breast cancer.	Doihara H	乳腺・内分泌外科
Pediatric cardiac surgery annual 15(1):88-95, 2012	Atrioventricular valve repair for patient with heterotaxy syndrome and a functional single ventricle	Sano S	心臓血管外科
European Journal of Cardio-thoracic Surgery 42(2):216-217, 2012	Editorial Comment: Does the shunt type determine midterm outcomes after a Norwood operation?	Sano S	心臓血管外科
Annals of Thoracic Surgery 94(4):1275-1280, 2012	Outcomes of one-lung fontan operation: a retrospective multicenter study in Japan	Sano S	心臓血管外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(24 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Nihon Geka Gakkai Zasshi 113(3):288-291, 2012	Japanese congenital heart surgery is almost the same level of Europe and North America	Sano S	心臓血管外科
Perfusion27(1): 72-77, 2012	Pediatric perfusion in Japan : 2010 practice survey	Sano S	心臓血管外科
Artificial Organs 36(4):379-386, 2012	Atrionatriuretic Peptide improves left ventricular function after myocardial global ischemia-reperfusion in hypoxic hearts	Sano S	心臓血管外科
Perfusion 27(3):225-229, 2012	Extracorporeal membrane oxygenation following pediatric cardiac surgery: development and outcomes from a single-center experience	Itoh H	循環器内科
日整会誌 第86巻 ,(5),394-400	生物製剤の登場による手術療法の動向と適応の変化について	西田 圭一郎	整形外科
J Orthop Res Vol.30 1738-1745	Chondromodulin- I derived from the inner meniscus prevents endothelial cell proliferation	古松 毅之	整形外科
日整会誌 第86巻, 019-022	仙骨脊索腫:手術と重粒子線治療の比較検討	国定 俊之	整形外科
中部整災誌 第55巻(5) 1167-1168	骨腫瘍切除後の骨欠損に対する配向連通気孔構造を有する新しい人工骨移植の短期治療成績	国定 俊之	整形外科
Acta Med Okayama 第66巻(4) 363-368	Segmental pedicle screw fixation for a scoliosis patient with post-laminectomy and post-irradiation thoracic kyphoscoliosis of spinal astrocytoma	瀧川 朋亨	整形外科
中部整災誌 第55巻(5)1215-1216	高齢者脊椎手術症例における周術期合併症の検討	馬崎 哲朗	整形外科
Acta Med Okayama 第66巻(6) 469-473	Recovery of motor function in patients with subaxial cervical spine injury relevant to the fracture pattern.	塩崎 泰之	整形外科
Plastic and Reconstructive Surgery129(4): 767-769,2012	Overview of Treatments for Male Genital Lymphedema:Critical Literature Review and Anatomical Considerations	Yoshihiro Kimata	形成外科
the Journal Cancer Surgery38:580-585, 2012	Hepatic artery reconstruction following ablative surgery for hepatobiliary and pancreatic malignancies	Yoshihiro Kimata	形成外科
JOHNS28(10): 1565-1569,2012	形成外科から耳鼻咽喉科に	木股 敬裕	形成外科
Br J Dermatol 167(2): 252-261, 2012	Detection of antibodies against the non-calcium-dependent epitopes of desmoglein 3 in pemphigus vulgaris and their pathogenic significance.	Aoyama Y	皮膚科
Eur J Dermatol. 22(3):380-383, 2012	Oculomucosal and gastrointestinal involvement in Epstein-Barr virus-associated hydroa vacciniforme.	Iwatsuki K	皮膚科
J Invest Dermatol. 132(5):1401-1408, 2012	Hydroa vacciniforme is associated with increased numbers of Epstein-Barr virus-infected $\gamma \delta$ T-cells.	Iwatsuki K	皮膚科
J Dermatol. 39:309-311, 2012	Surgical management of axillary necrotizing fasciitis: a case report.	Yamasaki O	皮膚科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(25 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Proteomics. 75: 1401-1410, 2012	Proteomic study identified HSP 70 kDa protein 1A as a possible therapeutic target, in combination with histone deacetylase inhibitors, for lymphoid neoplasms.	Fujii K	皮膚科
J Invest Dermatol. 132: 135-143, 2012	Cathelicidin antimicrobial peptide LL-37 in psoriasis enables keratinocyte reactivity against TLR9 ligands.	Morizane S	皮膚科
J Med Microbiol. 61(Pt 10):1445-1453, 2012	Diversity of Epstein-Barr virus BamHI-A rightward transcripts and their expression patterns in the lytic and latent infections.	Iwatsuki K	皮膚科
Hematology. 17(3): 163-169, 2012	Valproic acid inhibits proliferation of EB virus-infected natural killer cells.	Fujii K	皮膚科
Eur J Dermatol. 22(4):545-546, 2012	Stewart-Treves syndrome arising in patients with lymphaticovenular anastomosis for chronic lymphedema of the leg.	Yamasaki O	皮膚科
J Allergy Clin Immunol. 130(1):259-261, 2012	T(H)2 cytokines increase kallikrein 7 expression and function in patients with atopic dermatitis.	Morizane S	皮膚科
J Dermatol. 39(12):1038-1040, 2012	Primary signet-ring cell/histiocytoid carcinoma of the axilla expressing human epidermal growth factor receptor 2.	Iwatsuki K	皮膚科
Acta Derm Venereol. 92(6):687-690, 2012	Eccrine Poromatosis Associated with Polychemotherapy.	Fujii K	皮膚科
John Libbey Eurotext 22(4): 1-2, 2012	Stewart-treves syndrome arising in patients with lymphaticovenular anastomosis for chronic lymphedema of the leg	Osamu Yamasaki	皮膚科
Translational Psychiatry 2:e27, 2012	Activation of latent precursors in the hippocampus is dependent on long-term potentiation	Kameda M	脳神経外科
Cancer Research 72:1353-1362, 2012	Extracellular matrix protein CCN1 limits oncolytic efficacy in glioma	Kurozumi K	脳神経外科
Neuroradiology 54: 597-606, 2012	Factors predicting retreatment and residual aneurysms at 1 year after endovascular coiling for ruptured cerebral aneurysms: Prospective registry of subarachnoid aneurysms treatment (PRESAT) in Japan	Sugiu K	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica 52(7): 470-474, 2012	Spinal cord stimulation for the treatment of abnormal posture and gait disorder in patients with parkinson's disease	Agari T	脳神経外科
Neurologica medico-chirurgica 52(8): 539-547, 2012	Cilengitide treatment of for malignant glioma: Current status and future direction	Kurozumi K	脳神経外科
Cancer Gene Therapy 19(8):572-578, 2012	Therapeutic effect of suicide gene-transferred mesenchymal stem cells in a rat model of glioma	Ichikawa T	脳神経外科
Annals of Neurology 72:373-384, 2012	Anti-high mobility group box-1 antibody therapy for traumatic brain injury	Date I	脳神経外科
Epileptic Disorders 14(3):334-339, 2012	Cryptogenic west syndrome and subsequent mesial temporal lobe epilepsy	Agari T	脳神経外科
Acta Neurochir 154: 773-778, 2012	A Proposal for standardized analysis of the results of microvascular decompression for trigeminal neuralgia and hemifacial spasm	Kondo A	脳神経外科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(26 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
World Neurosurgery 78(6):670-682, 2012	Novel animal glioma models that separately exhibit two different invasive and angiogenic phenotypes of human glioblastomas	Ichikawa T	脳神経外科
Neuropathology 32: 638-646, 2012	Role of VEGF and matrix metalloproteinase-9 in peritumoral brain edema associated with supratentorial benign meningiomas	Ichikawa T	脳神経外科
VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery 19(1):6, 2012	大型・巨大内頸動脈クリッピング時のsuction decompression法—セッティングとクリッピング時の留意点—	伊達 勲	脳神経外科
脳卒中の外科 40: 217-222, 2012	Onyxによる術前塞栓術を併用した脳動静脈奇形の外科的摘出術	徳永 浩司	脳神経外科
脳神経外科 40(9): 765-774, 2012	脳底動脈先端部動脈瘤に対するコイル塞栓術	杉生 憲志	脳神経外科
神経外傷 35(2): 125-129, 2012	穿通性頭部外傷に対する当科の治療方針	亀田 雅博	脳神経外科
Acta Med Okayama. 66(3) 285-289,2012	Antinociceptive effects of intrathecal landiolol injection in a rat formalin pain model.	Mizobuchi S	麻酔科蘇生科
Brain Res. 1452 1-9,2012	Sigma-1 receptor alters the kinetics of Kv1.3 voltage gated potassium channels but not the sensitivity to receptor ligands.	Kinoshita M	麻酔科蘇生科
Catheter Cardiovasc Interv. 80(1)84-90,2012	Transcatheter closure of atrial septal defect in a geriatric population	Goto K	麻酔科蘇生科
ScientificWorldJournal. Epub,2012	The incidence and prognostic value of hypochloremia in critically ill patients	Tani M	麻酔科蘇生科
Int J Mol Med.29(2) 135- 140,2012	Heme breakdown and ischemia/reperfusion injury in grafted liver during living donor liver transplantation	Morimatsu H	麻酔科蘇生科
Neurosci Lett. 508(2) 78-83, 2012	Expression changes of the neuregulin 1 isoforms in neuropathic pain model rats	Mizobuchi S	麻酔科蘇生科
Crit Care. 16(1)R33, 2012	Association of body temperature and antipyretic treatments with mortality of critically ill patients with and without sepsis: multi-centered prospective observational study.	Morita K	麻酔科蘇生科
Int J Hypertens. Epub740203,2012	Reciprocal Effects of Oxidative Stress on Heme Oxygenase Expression and Activity Contributes to Reno-Vascular Abnormalities in EC-SOD Knockout Mice	Morita K	麻酔科蘇生科
J Clin Biochem Nutr. 2013 Jan;52(1):27-31	Thioredoxin-1 and oxidative stress status in pregnant women at early third trimester of pregnancy: relation to maternal and neonatal characteristics.	Tsukahara H	小児科
Crit Care Med. 2013 Jan;41(1):171-81.	Redox-active protein thioredoxin-1 administration ameliorates influenza A virus (H1N1)-induced acute lung injury in mice.	Yashiro M	小児科
Scand J Infect Dis. 2012 Dec;44(12):941-7.	Treatment of pandemic influenza A (H1N1) 2009-associated encephalopathy in children.	Morishima T	小児科
J Med Virol. 2012 Aug;84(8):1151-6.	National survey of pandemic influenza A (H1N1) 2009-associated encephalopathy in Japanese children.	Morishima T	小児科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(27 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Pediatr Blood Cancer. 2012 Jul 15;59(1):83-9.	Activation of Akt is associated with poor prognosis and chemotherapeutic resistance in pediatric B-precursor acute lymphoblastic leukemia.	Tsukahara H	小児科
Int J Hematol. 2012 Oct;96(4):469-76	High WT1 mRNA expression after induction chemotherapy and FLT3-ITD have prognostic impact in pediatric acute myeloid leukemia	Shimada A	小児科
Int J Hematol. 2012 Jun;95(6):675-9.	Excellent outcome of allogeneic bone marrow transplantation for Fanconi anemia using fludarabine-based reduced-intensity conditioning regimen.	Shimada A	小児科
J Neurol Sci. 315: 15-19, 2012	A novel mutation in SCN4A causes severe myotonia and school-age-onset paralytic episodes	Yoshinaga H	小児神経科
Brain Dev. 34: 368-371, 2012	Amelioration of disabling myoclonus in a case of DRPLA by levetiracetam	Kobayashi K	小児神経科
Epilepsy Res. 102: 109-112, 2012	Acute encephalopathy with a novel point mutation in the SCN2A gene	Kobayashi K	小児神経科
Clin Neurophysiol. 123: 93-99, 2012	High kurtosis of intracranial electroencephalogram as a marker of ictogenicity in pediatric epilepsy surgery	Akiyama T	小児神経科
Seizure. 21: 522-528, 2012	Efficacy of topiramate for intractable childhood generalized epilepsy with epileptic spasms: with special reference to electroencephalographic changes	Endoh F	小児神経科
Pediatr Neurol. 47: 119-122, 2012	Intractable absence seizures in hyperinsulinism-hyperammonaemia syndrome	Kobayashi K	小児神経科
Epileptic Disord. 14: 334-339, 2012	Cryptogenic West syndrome and subsequent mesial temporal lobe epilepsy	Kobayashi K	小児神経科
Ann Nucl Med. 26(8):616-621	Dual-time-point F-18 FDG PET/CT for evaluation in patients with malignant lymphoma.	Shinya T	放射線科
Cardiovasc Intervent Radiol. 35(4):860-867	Influence of radiofrequency ablation of lung cancer on pulmonary function.	Hiraki T	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 23(6):780-785	Phrenic nerve injury after radiofrequency ablation of lung tumors: retrospective evaluation of the incidence and risk factors.	Hiraki T	放射線科
J Clin Oncol. 42(7):646- 649	A case of delayed massive hemothorax caused by the rupture of a pulmonary artery pseudoaneurysm after radiofrequency ablation of lung tumors.	Gobara H	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 82(2):e219-e223	Primary Gleason Grade 4 Impact on Biochemical Recurrence After Permanent Interstitial Brachytherapy in Japanese Patients With Low- or Intermediate-Risk Prostate Cancer.	Katayama N	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 23(4):521-527	Safety and efficacy of primary metallic biliary stent placement with tract embolization in patients with massive ascites: a retrospective analysis of 16 patients.	Fujiwara H	放射線科
Pulm Med. 2012(2012):1-5	Lung radiofrequency ablation: potential as a therapy to oligometastasis and oligorecurrence.	Hiraki T	放射線科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(28 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int Psychogeriatr. 23(4):546-553	Kana Pick-out Test and brain perfusion imaging in Alzheimer's disease.	Sato S	放射線科
Pulm Med.	Oligometastases/Oligo-recurrence of lung cancer.	Hiraki T	放射線科
Neuroscience.206 224-236,2012	Selective inhibition of extracellular signal-regulated kinases 1/2 blocks nerve growth factor to brain-derived neurotrophic factor signaling and suppresses the development of and reverses already established pain behavior in rats.	Matsuoka Y	集中治療部
Anesthesiology. 117(1) 117-125, 2012	Effects of pharyngeal cooling on brain temperature in primates and humans: a study for proof of principle	Takeda Y	集中治療部
Crit Care Resusc. 14(1) 14-19, 2012	The association between early arterial oxygenation and mortality in ventilated patients with acute ischaemic stroke.	Egi M	集中治療部
Curr Opin Clin Nutr Metab Care. 15(2)151-160,2012	The impact of premorbid diabetic status on the relationship between the three domains of glycemic control and mortality in critically ill patients.	Egi M	集中治療部
J Crit Care.27(5) 428-433, 2012	Fever in non-neurological critically ill patients: a systematic review of observational studies	Egi M	集中治療部
Intensive Care Med.38 1191-1197,2012	Incidence and risk factors for mortality in paediatric severe sepsis: results from the national paediatric intensive care registry in Japan	Toda Y	循環器疾患治療部
J Anesth. 26(2) 303,2012	In reply: The use of tranexamic acid in pediatric cardiac surgery:we really need more.	Toda Y	循環器疾患治療部
Oxidative Stress - Molecular Mechanisms and Biological Effects Open Access Book. 分担, Volodymyr Lushchak, Halyna M, Semchyshyn, Intech. Croatia. Chapter6, 2012	Chapter 6. Heme proteins, Hemeoxygenase-1 and Oxidative stress	Morimatsu H	周術期管理センター
Pain in Perspective. 分担 Subhamay Ghosh. InTech. Open Access Company. chapter 10,2012	A Novel Application of Virtual Reality for Pain Control: Virtual Reality-Mirror Visual Feedback Therapy.	Sato K	周術期管理センター
Biomedical Engineering and Cognitive Neuroscience for Healthcare:Interdisciplina ry Applications. 2012	A Mirror Visual Feedback Therapy System Applying Virtual Reality Technology.	Sato K	周術期管理センター
J Hepatobiliary Pancreat Sci 19(4):438-448, 2012	Branched-chain amino acid-enriched nutrients improve nutritional and metabolic abnormalities in the early post-transplant period after living donor liver transplantation.	Yoshida R	低侵襲治療センター
Oncol Rep. 28(5):1645-52.	Preclinical biodistribution and safety study of reduced expression in immortalized cells/Dickkopf-3-encoding adenoviral vector for prostate cancer gene therapy.	Watanabe M	新医療研究開発センター

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(29 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int J Oncol. 41(2):559-64.	REIC/Dkk-3-encoding adenoviral vector as a potentially effective therapeutic agent for bladder cancer.	Hirata T	新医療研究開発センター
Int J Oncol. 41(1):135-40.	A novel gene expression system for detecting viable bladder cancer cells.	Watanabe M	新医療研究開発センター
Acta Med Okayama. 66(1):7-16.	Preclinical safety and efficacy of in situ REIC/Dkk-3 gene therapy for prostate cancer.	Watanabe M	新医療研究開発センター
Med Oncol. 29(2):829-34.	Implications of transcriptional factor, OCT-4, in human bladder malignancy and tumor recurrence.	Watanabe M	新医療研究開発センター
Int J Cancer 131(12):2939-2950, 2012	Genetically engineered oncolytic adenovirus induces autophagic cell death through an E2F1-microRNA-7-epidermal growth factor receptor axis.	Tazawa H	新医療研究開発センター
接合歯子 Adhes Dent Vol.30 No.4 :137-144, 2012	合着用レジン添加型グラスアイオノマーセメントの歯質接着性と曲げ特性	入江 正郎	むし歯科
Journal of Dental Research, 91(12): 1190-1195, 2012	Assessment of the plasma/serum IgG test to screen for periodontitis	Chieko Kudo	歯周科
Journal of Dental Research, 91(8): 764-770, 2012	Smad2 decelerates re-epithelialization during gingival wound healing	Shogo Takashiba	歯周科
Odontology, 100(2): 254-257, 2012	Histological and immunohistochemical features of gingival enlargement in a patient with AML	Shogo Takashiba	歯周科
日本歯周病学会誌, 54(2):193-202, 2012	血清抗体価検査を応用して治療した広範型侵襲製歯周炎患者の15年間の経過	高柴 正悟	歯周科
Journal of Oral Rehabilitation; 39(1): 63-72, 2012.	Intradermal injection of Botulinum toxin type A alleviates infraorbital nerve constriction-induced thermal hyperalgesia in an operant assay.	Matsuka Y	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Oral Rehabilitation; 39(1): 44-54, 2012.	Response Shift in Oral Health-Related Quality of Life Measurement in Patients with Partial Edentulism.	Kimura A	クラウンブリッジ補綴科
Dental Materials Journal; 31(1): 86-91, 2012.	Influence of resin coating materials on Porphyromonas gingivalis attachment.	Ono M	クラウンブリッジ補綴科
Clinical Oral Investigations; 16(1): 101-108, 2012.	Test-retest reliability of MRI-based disk position diagnosis of the temporomandibular joint.	Maekawa K	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Prosthodontic Research; 58(2): 71-86, 2012.	A multi-centered epidemiological study evaluating the reliability of the treatment difficulty indices developed by the Japan Prosthodontic Society.	Kuboki T	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Oral Rehabilitation; 39(6): 429-437, 2012.	Videoendoscopic Assessment of Swallowing Function to Predict the Future Incidence of Pneumonia of the Elderly.	Kuboki T	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Oral Rehabilitation; 39(8): 630-638, 2012.	Occlusal dysesthesia: a qualitative systematic review of the epidemiology, aetiology and management.	Matsuka Y	クラウンブリッジ補綴科
Sleep and Breathing; 16(4): 1069-1072, 2012.	Multiple night data collected using a self-contained EMG detector/analyzer system in asymptomatic healthy subjects.	Minakuchi H	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Dental Education; 76(12): 1580-1588, 2012.	A problem-based learning tutorial for dental students regarding elderly residents in a nursing home in Japan.	Matsuka Y	クラウンブリッジ補綴科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(30 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Cell stem Cell; 10(5): 544-555, 2012.	Mesenchymal stem cell induced immunoregulation involves Fas ligand/Fas mediated T cell apoptosis.	Akiyama K	クラウンブリッジ補綴科
Developmental Dynamics; 241(7): 1217-1226, 2012.	Identification of novel transcription-regulating genes expressed during murine molar development.	Kuboki T	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Prosthodontic Research; 56(4): 249-255, 2012.	Matrix metalloproteinase-8 is the major potential collagenase in active peri-implantitis.	Kuboki T	クラウンブリッジ補綴科
Stem Cell Research and Therapy; 3(5): 40, 2012	Characterization of bone marrow derived mesenchymal stem cells in suspension.	Akiyama K	クラウンブリッジ補綴科
Journal of toxicology Volume 2012 (2012), Article ID 648384, 8 pagesdoi:10.1155/2012/648384	Application of purified botulinum type A neurotoxin to treat experimental trigeminal neuropathy in rats and patients with urinary incontinence and prostatic hyperplasia.	Matsuka Y	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Prosthodontic Research; 57(1), 62-66, 2013	A novel vibratory stimulation-based splint for chronic and untreatable masticatory myofascial pain: A case-series.	Kuboki T	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Oral Rehabilitation; 40(3): 179-184, 2013	A novel vibratory stimulation-based occlusal splint for alleviation of TMD painful symptoms: a pilot study	Kuboki T	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Oral Rehabilitation; 40(3): 214-220, 2013	Identification of risk factors for fracture of veneering materials and screw loosening of implant supported fixed partial dentures in partially edentulous cases.	Maekawa K	クラウンブリッジ補綴科
日本集中治療医学会雑誌; 19(3): 431-432, 2012.	気管挿管における口腔内偶発症防止対策の必要性.	縄 稚 久美子	クラウンブリッジ補綴科
Oral Diseases; 18(3): 285-292, 2012.	Basic fibroblast growth factor inhibits osteogenic differentiation of stem cells from human exfoliated deciduous teeth through ERK signaling.	Akiyama K	クラウンブリッジ補綴科
Acta Biomaterialia; 8(3): 1260-1266, 2012.	Real time assessment of surface interactions with a titanium passivation layer by surface plasmon resonance.	Maekawa K	クラウンブリッジ補綴科
Experimental Cell Research; 318(5): 453-63, 2012	Stage-specific embryonic antigen-4 identifies human dental pulp stem cells.	Ono M	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Dentistry; 40(6): 475-84, 2012.	Bonding effectiveness of a new 'multi-mode' adhesive to enamel and dentine.	Kuboki T	クラウンブリッジ補綴科
Dental Materials Journal; 31(3): 418-26, 2012.	Effect of low-shrinking composite on the bonding effectiveness of two adhesives in occlusal Class-I cavities.	Kuboki T	クラウンブリッジ補綴科
PLoS One; 7(12): e51777, 2012.	Cryopreserved dental pulp tissues of exfoliated deciduous teeth is a feasible stem cell resource for regenerative medicine.	Akiyama K	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Materials Science: Materials in Medicine; 23(12): 3041-51, 2012.	Alginate hydrogel as a promising scaffold for dental-derived stem cells: an in vitro study.	Akiyama K	クラウンブリッジ補綴科
Clinical and Developmental Immunology; 2012:273291	Double allogenic mesenchymal stem cells transplantations could not enhance therapeutic effect compared with single transplantation in systemic lupus erythematosus.	Akiyama K	クラウンブリッジ補綴科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(31 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Calcified tissue International; 91(6): 400-8, 2012	Technetium-99 conjugated with methylene diphosphonate ameliorates ovariectomy-induced osteoporotic phenotype without causing osteonecrosis in the jaw.	Akiyama K	クラウンブリッジ補綴科
Biochimie; 95(2): 374-81, 2013	Novel chondrogenic and chondroprotective effects of the natural compound harmine.	Ono M	クラウンブリッジ補綴科
日本口腔インプラント学会雑誌; 25(1): 40-46, 2012.	口腔インプラント生存に関する後向き調査 ー過去12年間の生存分析ー	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科
Odontology 2012 Jul 18. [Epub ahead of print]	Effect of transient occlusal loading on the threshold of tooth tactile sensation perception for tapping like the impulsive stimulation.	森本 雄太	咬合・義歯補綴科
Journal of Oral Rehabilitation 39:370-376,2012	Dynamics of posterior tongue during pronunciation and voluntary tongue lift movement in young adults.	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科
Journal of Oral Rehabilitation 39:405-410,2012	New image analysis of large food particles can discriminate experimentally suppressed mastication.	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科
日本顎口腔機能学会雑誌 18:125-131,2012	グミゼリーを用いた咀嚼能率評価法における視覚判定, 成分溶出および粒度解析の関係	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科
老年歯科医学 27:3-9,2012	下顎無歯顎に対する咬合・嚥下床ならびに咀嚼・嚥下床のための寸法提示を目的とした床形態計測ー咬合・咀嚼リハビリテーションのための義歯床サイズ提案	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科
Oral Oncology 48 (1), 49-55, 2012.	Sonic hedgehog signaling promotes growth of oral squamous cell carcinoma cells associated with bone destruction.	Tsuyoshi Shimo	口腔外科(病態系)
Oral Oncology 48 (1), 1120-1127, 2012.	Hypoxia-induced up-regulation of angiogenin, besides VEGF, is related to progression of oral cancer.	Koji Kishimoto	口腔外科(病態系)
Oral Oncology 48 (1), 1159-1170, 2012.	Anti-tumor effect of a novel FAK inhibitor TAE226 against human oral squamous cell carcinoma.	Naito Kurio	口腔外科(病態系)
Current Cancer Drug Targets Mar.13 (3), 289-299, 2013.	Novel HSP90 Inhibitor NVP-AUY922 enhances the antitumor effect of temsirolimus against oral squamous cell carcinoma.	Tatsuo Okui	口腔外科(病態系)
InTech, Croatia 174-194, 2012	Role of connective tissue growth factor (CTGF/CCN2) in oral squamous cell carcinoma-induced bone destruction	Tsuyoshi Shimo	口腔外科(病態系)
日本口腔腫瘍学会誌 24巻3号, 103-111, 2012.	後期高齢者口腔扁平上皮癌症例の臨床的検討	吉田 祥子	口腔外科(病態系)
日本口腔外科学会誌 58巻9号, 546-549, 2012.	幼児の上顎歯肉に発生した巣状口腔粘膜症の1例	伊原木 聡一郎	口腔外科(病態系)
津山中央病院医学雑誌 26巻1号, 123-126, 2012.	両側性顎関節前方脱臼に片側ごとの徒手整復が有効であった1症例	西山 明慶	口腔外科(病態系)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(32 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
岡山歯学会雑誌 31巻1号, 15-19, 2012.	下顎骨腫瘍摘出後の骨折および顔貌変形防止に対するプレートの応用	岸本 晃治	口腔外科(病態系)
岡山歯学会雑誌 31巻1号, 21-25, 2012.	病理組織学的にエナメル上皮線維歯牙腫との鑑別が困難であったimmature odontomaの1例	志茂 剛	口腔外科(病態系)
日本顎顔面インプラント 学会誌 11巻2号, 81-85, 2012.	両側上顎洞粘液嚢胞を有する患者に上顎洞底挙上術を行った1例	中妻 可奈子	口腔外科(病態系)
J Clin Pediatr Dent. 2012 Winter; 37(2): 199-201	Extreme tooth abnormalities and treatment under general anesthesia in a child with chronic GVHD surviving relapse of acute lymphoblastic leukemia.	Shigeru Maeda	歯科麻酔科
J Oral Maxillofac Surg 70:1315-1320, 2012	Midazolam is associated with delay in recovery and agitation after ambulatory general anesthesia for dental treatment in patients with disabilities: A retrospective cohort study.	Shigeru Maeda	歯科麻酔科
Immunopharmacol immunotoxicol 34: 216-221, 2012.	Effects of midazolam and phenobarbital on brain oxidative reactions induced by pentylenetetrazole in a convulsion model.	Takuya Miyawaki	歯科麻酔科
Immunopharmacol immunotoxicol 34: 79-83, 2012.	Combination of midazolam and a cyclooxygenase-2 inhibitor inhibits lipopolysaccharide-induced interleukin-6 production in human peripheral blood mononuclear cells. I	Takuya Miyawaki	歯科麻酔科
Epilepsia 53: e13-16, 2012	The influence of oral VPA on the required dose of propofol for sedation during dental treatment in patients with mental retardation: a prospective observer-blinded cohort study.	Minako Ishii	歯科麻酔科
日本歯科麻酔学会雑誌 41: 21-25, 2013.	口腔外科手術における全身麻酔覚醒直後の興奮の要因に関する後ろ向き研究.	本田 優花	歯科麻酔科
Archives of Oral Biology 57:981-986, 2012	Self-reports of eating quickly are related to a decreased number of chews until first swallow, total number of chews, and total duration of chewing in young people.	江國 大輔	予防歯科
Acta Odontologica Scandinavica 70:491-496, 2012	Gum chewing modulates heart rate variability under noise stress.	江國 大輔	予防歯科
Community Dentistry and Oral Epidemiology 40:97-104, 2012	Social capital and self-rated oral health among young people.	江國 大輔	予防歯科
Journal of Periodontology 83:1110-1115, 2012	Relationship between serum albumin concentration and periodontal condition in head and neck cancer patients.	丸山 貴之	予防歯科
Journal of Clinical Periodontology 39:844-849, 2012	Effects of self-efficacy on oral health behaviors and gingival health in university students aged 18- or 19-year-old.	水谷 慎介	予防歯科
Scientific World Journal 2013;2013:405075. doi: 10.1155/2013/405075. Epub 2013 Feb 17.	Regulation of recombination between gtfB/gtfC genes in Streptococcus mutans by recombinase A.	M Nakano	小児歯科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(33 / 46)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Support Care Cancer 21(2):367-8, 2013	Antibiotic sensitivity of bacteria on the oralmucosa after hematopoietic cell transplantation	Soga Y	医療支援歯科治療 部
Support Care Cancer 21(1):343-55, 2013	Systematic review of cytokines and growth factors for the management of oralmucositis in cancer patients	Soga Y	医療支援歯科治療 部
Odontology 100(2):254-7, 2012	Histological and immunohistochemical features of gingival enlargement in a patientwith AML	Soga Y	医療支援歯科治療 部

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 横野 博史		
管理担当者氏名	総務課長 田口 博之, 放射線部長 金澤 右, 薬剤部長 千堂 年昭,	医事課長 木村 勝弘, 医療情報部長 合地 明, 看護部長 保科 英子,	各診療科長

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録			
	病院日誌	総務課	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に 1 患者 1 ファイル方式として保管している。 エックス線写真は、1 患者 1 ファイル方式で保管している。 なお、カルテ等病歴資料はコンピュータによる集中管理を行っている。
	各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科 医療情報部 医事課	
	処方せん	薬剤部	
	エックス線写真	放射線部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	第規一則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	
	号第	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
	に掲	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	
	条の	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
	十	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	
	体一	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	
	制第	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	
	一	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	
	確項		
	保各		
	の号		
	状及		
	況		
	第九		
	条の		
	二十三		
	第一		
	項		

		保 管 場 所	分 類 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一条の十一 第一項各号及び第九条の二十三 第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課 医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部 医事課 総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室 医療安全管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 大岩 淳一
閲覧担当者氏名	総務課長 田口 博之
閲覧の求めに応じる場所	管理棟研究棟 3 階小会議室(病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧場所)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	74.1 %	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	18,415	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,156	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,320	人
	D: 初診の患者の数	32,241	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
- 指針の主な内容： - 安全管理に関する基本的な考え方 - 医療事故発生時の対応方法 - 各部門ごとの安全管理マニュアル - 患者からの相談への対応に関する基本方針 他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
- 活動の主な内容： - 医療事故の防止及びその対策に関する事 - 医療事故防止マニュアルの作成に関する事 - 医療事故防止の教育・研修に関する事 - その他医療事故の防止に関する事	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
- 研修の主な内容： 1) 「心肺蘇生法」 2) 抗がん剤の安全管理について 3) 抗菌薬アレルギーへの対応, 入院患者の尿路感染と予防策 (医療安全・院内感染対策合同)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
- 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) - その他の改善のための方策の主な内容： - マニュアルの整備 - インシデントレポートシステム - リスクマネジャーの配置 - 医療事故等調査委員会 - 医療安全管理者の巡視による改善策実施状況の確認	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
- 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (1 5) 名 - 活動の主な内容： - 医療事故防止委員会の運営に関する事 - 医療事故防止対策の立案に関する事 - 医療事故・ニアミス報告の分析に関する事 - リスクマネジャーとの連絡調整に関する事 - 安全管理に関する教育・研修の企画運営に関する事 - 医療事故相談に関する事 - その他医療事故の防止、医療の安全性の向上・医療の質の向上に関する事	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
- 指針の主な内容： 1) 院内感染対策に関する基本的な考え方 2) 委員会について 3) 感染制御部の業務内容 4) 院内感染対策のための職員教育及び研修 5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 6) 院内感染発症時の対応に関する基本方針 7) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8) その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 4 8 回
- 活動の主な内容： ・感染予防対策委員会 1回／月 合計12回 ・リスクマネジャー会議（この中でICT全体会議と医療安全会議を行う） 1回／月 合計12回 ・感染制御部職員会議 1回／月 合計12回 以上3委員会は、それぞれ連携して以下の活動をする ① 耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス ② 感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理 ③ 抗菌薬使用の管理 ④ ICT（リスクマネジャーがICTメンバーを兼ねる）との連携 ⑤ 重症感染症、特殊感染症の診断及び治療に関するコンサルテーション ⑥ 感染予防対策に関する教育及び研修の企画運営 ⑦ 針刺し、体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応及び予防対策の立案指導 ⑧ その他医療従事者の感染予防と発症時の指導（結核、流行性疾患など） ⑨ 医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導 ⑩ その他の感染予防対策上の問題への関与 ・看護部感染対策委員会 1回／月 合計12回 手指衛生のコンプライアンスの測定と改善 感染防止の視点からの看護手順の作成 環境整備の状況把握と指導	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 8 回
- 研修の主な内容： 1) 全職員対象院内感染対策講習会 3回／年（①、②は同じ内容で2回ずつ、③は1回、計5回） ① 針刺し事故防止について、結核の院内感染予防とトリージ診療、スタンダードプリコーション ② 海外旅行と感染症（医療安全管理部と合同） ③ 肺炎の治療と予防 2) 新規採用者研修 1回 3) 感染対策地域連携講演会「結核の診断と治療」 1回 4) 主に看護師対象感染防止技術研修会 10回 〈内容〉感染予防対策に関する基本的な事項、Device関連の感染予防策、流行性疾患対策など 5) 抗菌薬使用に関する勉強会 1回	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・その他の改善のための方策の主な内容： - その年のスローガンを決め、強化をする。 - 平成24年度は、手指衛生に関する知識不足の改善をスローガンとし、手指衛生教育の充実を図った。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
研修の主な内容： 平成 24 年 4 月 新規採用職員オリエンテーション－医療事故防止について(薬剤部)－	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
- 手順書の作成 (有・無) - 業務の主な内容： - 医薬品の採用・購入に関すること - 医薬品の管理に関すること(麻薬を含む。) - 患者の持参薬歴情報等の収集、処方せんの記載に関すること - 患者に対する与薬や服薬指導に関すること - 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関すること - 他施設(病院等、薬局等)との連携に関すること - I C Uにおける医薬品管理に関すること 実施状況については、業務手順書に基づき、各担当部署においてチェックリストを作成し、定期的(月1回程度)に実施状況の確認を行った。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) - その他の改善のための方策の主な内容： 毎月、業務手順書に基づき、薬品情報室にて収集した情報を、情報誌(DI News)に掲載し、各診療科、中央診療施設、看護部に配布し情報提供を行った。 また、安全性情報はmailにて配信しており、特に重篤な情報は処方医宛に配信している。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 4 3 回
- 研修の主な内容： - 定期研修 1. 人工心肺装置：体外循環装置の安全に関わる講習会の受講(学会主催のもの) 2. 人工呼吸器：機器の取り扱いと注意事項について 3. 血液浄化装置：同 上 4. 除細動装置：同 上 5. 閉鎖式保育器：同 上 6. MR I 装置の安全性 7. X線撮影装置の安全管理 8. 放射線治療装置の安全管理 9. R A L S 緊急時マニュアル(医師，放射線技師，看護師対象) 10. R A L S 線源交換及び線源強度公正方法(放射線技師対象) - 新しい医療機器導入時の研修 1. 注入ポンプ：機器の取扱いについて 2. 人工呼吸器：機器の取扱いについて，NAVAオプションについて 3. X線CT装置 4. S P E C T - C T 装置 5. 移動型透視用X線装置 6. 血管撮影装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 計画の策定 (有・無) - 保守点検の主な内容： 1. 人工心肺装置：定期点検(年1回)，日常点検(始業点検/終業点検) 2. 人工呼吸器：定期点検(年2回)，使用前点検 3. 血液浄化装置：定期点検(年2回)，使用前点検 4. 除細動装置：定期点検(年2回) 5. 閉鎖式保育器：定期点検(年2回) 6. X 線 装 置：定期点検(機種により年1～4回)，使用前点検 7. 診療用放射線照射装置：定期点検(年2回)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) - その他の改善のための方策の主な内容： - 医療機器の不具合が発生しない環境の整備 (過去の医療機器の故障，修理について，点検・修理記録を検証し，医療機器の不具合を未然に防ぐ対策を講ずる。) - 人工呼吸器装着患者搬送中の人工呼吸器バッテリーアラームに対する対策の実施 - MR I 対応ペースメーカーについて，情報収集並びにフロー図，マニュアル，チェックリスト等の作成 (医療安全管理部，放射線科，循環器内科，看護師，臨床工学技士，診療放射線技師)	